

第30回地域医療を考える懇談会

来年1月に淡路で開催

島内地域医療連携をテーマに

淡路支部ニュース

2013.12.15
No.299

兵庫県保険医協会淡路支部
〒656-0005 洲本市物部
3-3-44 松本産婦人科内
TEL 0799-2210073

協会は来年1月12日、「第30回地域医療を考える懇談会」を淡路市の国際会議場で開催する。「淡路島における地域医療連携を考える」を全体テーマに、県立淡路医療センター診療部長の久島健之先生、東浦平成病院院長の長屋彰子先生、大橋医院院長の大橋明先生が講演する。

同懇談会は、県下各地の医療活動の経験を交流し、地域医療・保健・福祉のあり方やネットワークづくりを考えることを目的に91年から開催している。今年も淡路支部が企画・運営する。奮ってご参加いただきたい。お問い合わせは、協会事務局(078-393-1803 楠・山田)まで。

日時 2014年1月12日(日)

9時30分～(12時終了予定)

会場 淡路夢舞台国際会議場会議室

Let's...

今年も後わずかに
なりました。

出来事のトップは、
やはり4月13日の淡
路地震でしょう。特
徴と言えば、島内で
も地域差が大きかつ

たこと。加えて、個人的
は損壊の程度は以前の阪神・
淡路大震災や7年前の台風水
禍に比べると小さいのに、復
旧は遅い。その因は年齢です
ね。もう一つは、マスコミの
対応。一種の僻地だったので、
新聞記載も数日間に過ぎず、
認知度は極めて低い。私の西
宮在住の友人もお盆過ぎまで
知らなかったとか…。

2番目は、県病(現・県立
淡路医療センター)の引越越
し。もつと周辺にも影響する
かと思っていたが、薬局4が
1になり、バスの由良―県病
線がなくなっただけ。すぐ
近くのスーパーも全く影響な
いようである。

3番目は、島内唯一だった
映画館(オリオン)の閉館、
というところでしょうか。
その他、地域によって若干
大雨もあつたようですが、台
風も来ず、他地方の三面記事
的猟奇事件など全くなく平穩
無事で結構でした。

さて、鬼が笑う来年の問題
点は? なんとと言っても診療
報酬の改定。一部では何年ぶ
りかの引き下げも囁かれてい
る。消費税アップの時に!
アベノミクスの効果とあい
まって…。もう一つは北朝鮮
の動向。私共の全く知る由も
ないことでしょうか。直接
私たちに関係するのは支部
ニュース300号の成功? 上
よろしくご協力お願い申し上
げます。【12月7日 松本記】

(付記) 古本屋ゼロ。写真屋
も激減。

兵庫県保険医協会淡路支部「日常診療勉強会」

実践COPD診療

～吸入薬の使い分けは?～

日時 12月21日(土) 17時～18時

会場 洲本市・夢海遊

【情報提供】ノバルティスファーマ株式会社

講師 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院
副院長兼呼吸器内科部長 駒瀬裕子先生

座長 県立淡路医療センター内科部長
小谷 義一先生

共催 ノバルティスファーマ株式会社

参加費 無料

お申し込み・お問い合わせは、Tel 078-393-1803 協会まで

< F A X 返信先 078-393-1802 楠宛 >

12月21日(土)淡路支部「日常診療勉強会」に
() 参加する () 都合がつけば

地区 _____ 市 _____ 医療機関名 _____ お名前 _____

淡路支部ニュース 300号記念号 掲載原稿募集

来年1月に淡路支部ニュースが発刊から300号目を迎えるにあたり、300号記念号を発行いたします。記念号に掲載する原稿を募集いたしますので、奮ってご投稿ください。

掲載号 2014年1月25日付(300号)

テーマ 自由(短歌、俳句、写真も可。ただし写真は白黒掲載)

字数 500字前後

締切 1月6日(月)

送り先 FAX 078-393-1802

メール kusunoki@doc-net.or.jp いずれも事務局・楠あて

連絡先 TEL 078-393-1803 兵庫県保険医協会事務局・楠

インターネットで保険医協会へアクセス

☆情報満載! 兵庫県保険医協会ホームページ

<http://www.hhk.jp/>

☆会員専用のメーリングリストを開設しております。

登録いただける方は下記までお知らせください。

E-mail : hyogo-hok@doc-net.or.jp



減点事例や算定方法などご相談ください

納得のいかない減点事例や、レセプトの記載、算定方法など、保険請求に関するご相談を受け付けています。困ったことがあれば、悩まずすぐにご連絡を。

お問い合わせは、TEL 078-393-1803

兵庫県保険医協会まで



淡路支部が11月16日に洲本市内で開催した研究会「消費税増税と医療『ゼロ税率』」の参加者感想文を紹介する。

感想文

消費税の損税解消

「ゼロ税率」でこそ

淡路市 粟田 哲司

11月16日(土)、兵庫県保険医協会副理事長である吉岡正雄先生に「消費税増税と医療『ゼロ税率』」と題して講演を、そして同じく副理事長の川西敏雄先生にはTPPの事などについて解説していただきました。

医療の公共性の観点から「命と健康には消費税は課さない」とする国の方針があります。そのため医療機関は保険診療で患者さんから消費税を受け取りません。しかし、医療機関は薬剤・医療機器など医療材料を購入するときは消費税を支払って「損税」として負担しています。

安倍政権は来年4月に消費税を5%から8%に増税することを打ち出しました。2015年には10%への引き上げも計画しています。その結果、医療機関がどのような影響を受けるのか、分かりや

う。消費税の引き上げによって「損税」は医療経営を圧迫し、結果として地域医療に多大な影響を与えます。

この「損税」解消のために協会・保団連が求めてきた医療への「ゼロ税率」案とは、患者も医療機関も消費税負担は0円とするものです。つまり、患者さんの窓口負担にかかる消費税は今まで通り0円。そして、医療機関が薬剤・医療機器の購入などに際して支払った消費税「損税」は国に申請して医療機関に還付してもらおうというものです。

もしこの「ゼロ税率」案がうまくいけば、消費税が何パーセントに上がっても医療機関は助かります。しかし、そううまくはいかないんだろ

投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。



【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp

淡路支部担当 楠(くすのき)まで